

## ふらの森の教室だよりNo.26発行～森林学習プログラム推進事業～ 森林学習プログラム

投稿者：：

Posted on : 2022-12-23 13:30:00

ふらの森の教室だよりNo.26を発行しました。



### 【令和4年度の森林学習プログラム】

今年度は予定していた9校全ての学校で森林学習を実施することができました。

小学校の森林学習は、「オリエンテーリング」を取り入れた森林散策を神社山と鳥居公園で行い、桐蔭学校7,8年生は、神社山で探検した樹木の葉っぱを基盤し、森の音りを抽出する活動に初めて挑戦してみました。

6月から始まった鳥居公園での森林学習は、原山小学校、富良野小学校、東小学校と、夏休み明けに藤野小学校、鳥居小学校・市部小学校で行いました。昨年は公園全体を巡る散策でしたが、限られた時間内でどうしても急ぎ足になってしまい、ゆっくり観察ができなかったというサポーターからの意見を反映させ、今年は運動場をめぐるグループと沼澤をめぐるグループに分けて活動しました。

各学校とは、まとめた活動をどのような形で行うか事前に打合せていますが、今年は散策中に見つけたものを図鑑形式でまとめる「図鑑作り」と、見つけたものをどこで見つけたかを地図上にまとめる「マップ作り」の2つから選択してもらいました。子どもたちが散策中に気づいたものを写真に撮ったり、採取したりしたものを、事後学習の日在学校で調べてまとめるという点ほどちらの活動も一緒です。子どもたちはまとめた活動を想像しながら、たくさんのお話を聞いたり集め、写真に撮っていききました。

公園の散策路には、サポーターが考えた「図鑑」が5冊ずつ準備されており、散策の合間に子どもたちは果敢に挑戦していました。15メートルのピンボールがどこまで刺さるかを当ててみる問題では、実際にそれを体験して、子どもと一緒に先生たちも驚いて目を白華させていたのが印象的でした。



写真 図鑑制作の様子

神社山での森林学習は、桐蔭学校3,4年生、山部小学校、桐蔭学校7,8年生で行いました。桐蔭学校の7,8年生は森の音りを抽出する「フレグランス作り」を、桐蔭学校3,4年生と山部小学校は、オリエンテーリングを取り入れた森林散策でした。桐蔭学校3,4年生は夏と秋の2回実施がすっかり定着しましたが、神社山の森を歩き、季節の違いを感じることができるとは貴重な体験だと思えます。子どもたちがまとめた夏と秋のマップからも、森の様子と季節の変化を感じることができました。

神社山で実施する学校は、森の中までバスで乗り入れ、スタート地点からゴールのおすまやまでを徒歩で移動していきます。途中、ホップのような実を付けたサワシバや甘い香りのカツラの木などについて、サポーターからいろいろ教えてもらいます。また夕字や虫を手にとりその感触を確認したり、ミズナラの巨木を抱きかかるといった様々な体験をしました。正味1時間半ほどの散策はあっという間に終わり、おすまやで待機しているバスに再び乗り込み学校へ戻っていきます。学校に着くのが12時頃なので、いつも増して美味しい給食が食べられるのではないのでしょうか。そう言えば、歩きながら「腹へった…」という子に「おじさんち…」と答え、お互いに「腹ペコ」状態を共有し合うこともしばしば。

今年で7年目を迎えた森林学習も、学校の先生や森林学習サポーターに変えられて、ここまで来ることができました。先生方からもアイデアをいただくことが増えて、サポーターとともに森林学習を一緒に楽しんでいる実感をもちます。これからもこの事業を通して、富良野で育つ子どもたちに寄り添いながら、自然に大きく広がっている森林を感じてもらえるよう、引き続き切磋琢磨していきたいと思えます。



写真 だより集めも準備しています！



桐蔭学校7,8年生 これらで何か？



今回は、市内小中学校の子どもたちが参加した2022シーズン森林学習の様子を紹介します。今年は小学校8校、中学校1校、208名の児童・生徒が参加、富良野の森を五感で体感し、たくさんの発見をしました。

取り組み前には先生たちと打合せを何度か行うのですが、お互いアイディアを出し合い、まとめた活動では各学校それぞれの工夫もみられるようになってきました。また子どもたちには、一人一台ずつiPadが配布されているので、ICT教育の一環として、こうしたタブレットを積極的に使用する学校も増えつつあります。

来年度の森林学習が今から楽しみです